

介護職“ケア・ヒーローズ”が活躍する職場

特別養護老人ホーム（特養）

常に介護が必要な、自宅生活が困難なお年寄りを長期的に受け入れる施設

介護老人保健施設（老健）

退院後など自宅に戻るため、数ヶ月程度リハビリや介護を受ける施設

デイサービス/デイケア

日帰り送迎により、食事・入浴サービスや、リハビリや訓練を受ける施設

グループホーム

認知症のお年寄りがスタッフのサポートを受けながら共同で暮らす施設

地域包括支援センター

身近な地域ごとにある、お年寄りや家族からの相談に対応する窓口

ショートステイ

数日から1週間の間入所し、食事・入浴サービスや、リハビリや訓練を受ける施設

有料老人ホーム

食事・介護・家事など日常生活に必要なサービスが付くお年寄り向け住居

小規模多機能型居宅介護

通所と訪問、泊まりを組み合わせ、スタッフが一貫して対応する施設

訪問介護

ヘルパーが居宅を訪問して、入浴、食事等の介護や家事を行うサービス

施設で暮らすための支援

最初の窓口での支援

自宅で暮らすための支援

介護の職種って、どれくらいあるの？

介護の仕事にはいろいろな職種があります。資格が必要なもの、資格なしでもできるものなどさまざまです。ここでは資格ごとに仕事の内容を簡単に紹介しましょう。



ホームヘルパー（介護職員初任者研修）

介護が必要なお年寄り等の家庭を訪問し、生活を助ける仕事です。なお初任者研修は、訪問介護に必要で施設で働く場合にも役に立つ、介護の仕事の入門的な研修です。

STEP UP

介護福祉士

介護施設や訪問介護にて、日常生活が困難なお年寄りに対し食事や入浴などの身体介護を行うほか、家族からの介護の相談に乗ることができる専門的な介護の国家資格です。

STEP UP

ケアマネジャー

介護サービス利用を希望するお年寄りや家族からの相談を踏まえ、適切な介護計画を作成し、受入先の介護事業所と調整する仕事です。受験には他資格の実務経験も必要です。

取得可能

社会福祉士

行政や介護施設・病院にて、お年寄りやその家族に対し、困っていることや今後の生活について相談に乗ったり、ほかの福祉・医療関係者と連携し、援助をする国家資格です。

理学療法士・作業療法士

介護施設や病院にて、体の不自由な方のリハビリや運動機能維持のためのお手伝いを行う国家資格です。

看護師

医師と協力して、お年寄りの健康管理や薬の管理を行い、介護施設での医療全般をケアします。国家資格の看護師と都道府県資格の准看護師があります。